iriver

取扱説明書

目次

第1章

はじめに

第2章

操作の基本

第3章

T50を使用する

第4章

T50の設定

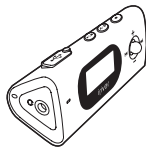
第5章

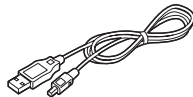
その他の情報

目次

第1章
はじめに

パッケージの内容

パッケージの内容は予告なく変更される場合があり、図とは異なる場合があります。

T50

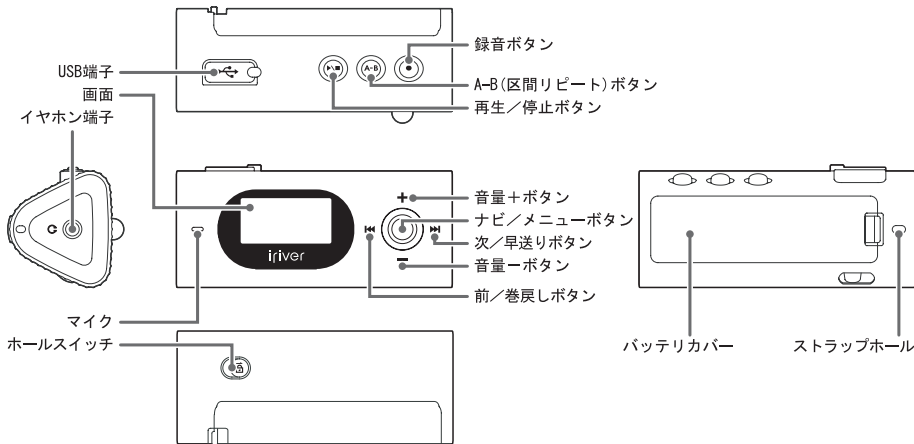
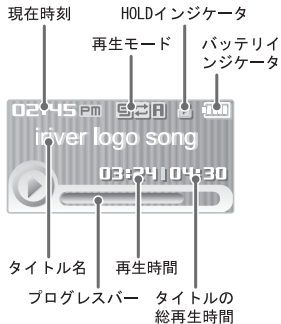
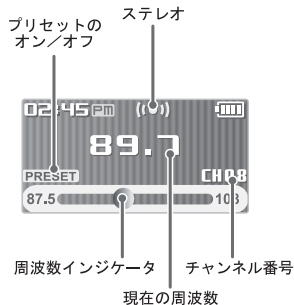
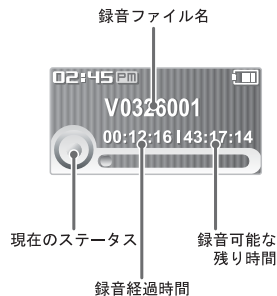
イヤホン

USBケーブル

取扱説明書と保証書

インストール CD

乾電池（単 3 型 1 個）

各部のなまえ

USB端子
画面
イヤホン端子
録音ボタン
A-B(区間リピート)ボタン
再生／停止ボタン
音量＋ボタン
ナビ／メニューボタン
次／早送りボタン
音量－ボタン
前／巻戻しボタン
マイク
ホールスイッチ
バッテリカバー
ストラップホール
iriver
A-B

画面表示について

| 音楽の再生中 |

| FM放送受信中 |

| 音声の録音中 |

iriver plus 3のインストール

iriver plus 3は、音楽および画像ファイルを効率的に管理するための統合ソフトウェアです。
iriver plus 3で、パソコンからT50に音楽および画像ファイルを簡単に転送することができます。

1. インストールCDをパソコンにセットすると、インストール画面が表示されます。

2. 「インストール」をクリックして、画面上の指示に従ってインストールを完了します。

注意

- iriver plus 3 を使用するための最低要件
  - Intel® Pentium® II 233MHz以上のプロセッサ速度
  - Windowsョ 98 SE／ME／2000／XP
  - 64MB以上のメモリ
  - 30MB以上のハードディスク空き容量
  - スピーカと16ビットをサポートするサウンドカード
  - Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0以降
  - SVGA以上の解像度を持つモニター(解像度1024x768以上)
- iriver plus 3 の使用の詳細については、30～32 ページを参照してください。

目次

第2章
操作の基本

電源のオン／オフ

1. T50の［▶\■］ボタンを押してオンにします。

2. ［▶\■］ボタンを長押ししてオフにします。
   ＊長押しとは、ボタンを2秒以上押し続けることです。

注意

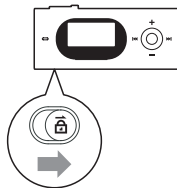
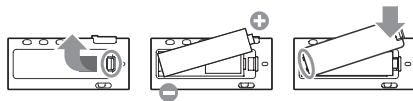
- T50は、電力消費を軽減し、バッテリを長持ちさせる機能が用意されています。 一定時間操作しないでいると、自動的に電源が切れます。この機能の設定については、「設定」→「タイマー設定」→「電源オフタイマー」を参照してください。 (→P. 28)

メニューの選択

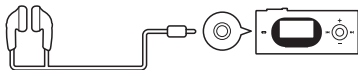
1. 電源をオンにしたら、[○ :NAVI] ボタンを長押しし、メニュー選択画面を表示します。

2. [⏮ / ⏭]ボタンを押してメニューを選択し、[○ :NAVI]ボタンを押してモードを表示します。

HOLD 機能の利用

1. ホールドスイッチを右にスライドすると全ボタンがロックされ、誤操作を防ぎます。

T50の接続

T50とイヤホンを接続する

1. T50のイヤホン端子にイヤホンを接続します。

バッテリの交換

1. T50 背面のバッテリカバーを押して、矢印の方向にスライドさせます。
2. 単3乾電池の＋とマイナスを正しく入れます。
3. バッテリカバーを取り付け、矢印の方向にスライドして閉じます。

注意

- 腐食を防止するために、プレーヤーを長期間使用しない場合にはバッテリを取り出してください。
- 腐食や液漏れが発生した場合は、バッテリケースを乾いた布で拭き取って、新しい乾電池と交換してください。

T50の接続

| T50とパソコンを接続する |

1. 製品の［ ▶\■ ］ボタンを押してオンにします。
2. 付属のUSB ケーブルを使用してT50とパソコンを接続します。

3. 画面に「USBで接続中」と表示されます。

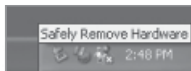
T50の接続

ファイル／フォルダのコピー(リムーバブルディスクとして利用する)

T50にファイル／フォルダをコピーする

1. 付属のUSB ケーブルでT50 をパソコンに接続して、マイコンピュータにT50として表示されるドライブにドラッグ&ドロップします。

T50からファイル／フォルダを削除する

1. ファイル／フォルダを選択して、マウスの右ボタンをクリックして「削除」を選択します。
2. 「ファイルの削除の確認／フォルダの削除の確認」ポップアップ ウィンドウで、「はい」をクリックしてファイル／フォルダを削除します。

注意

- 必ず付属のUSBケーブルを使用してください。
- データの転送中は、T50を取り外したり電源をオフにしないでください。データが破損するおそれがあります。

T50の接続

T50をパソコンから切断する

1. タスクバーのアイコンをクリックして、「ハードウェアの安全な取り外し」 メニューを使用して製品を切断します。

2. 「停止」ボタンをクリックして、確実に切断します。

注意

- タスクバー上のアイコンは、オペレーティングシステムによっては表示されない場合があります。表示されていないアイコンを表示するには、「アイコンを表示」をクリックします。
- 「ハードウェアの安全な取り外し」は、Windows Explorer や Windows Media Player などのアプリケーションを使用している間は利用できない場合があります。「ハードウェアの安全な取り外し」を行うには、まずすべてのアプリケーションを閉じてください。
- 「ハードウェアの安全な取り外し」が適切に実行されなかった場合には、数分経ってから再試行してください。

目次

第3章
T50を使用する

音楽を聴く

| 音楽を再生する |

1. メインメニューで 「Music」 を選択します。
2. スタンバイ画面で [○:NAVI] ボタンを押して、曲リスト画面を表示します。[⏮/⏭/+/−] ボタンを押して曲を選択します。
   - ⏮ : 上のフォルダに移動します。
   - ⏭ : 下のフォルダに移動します。
   - +/− : 現在のフォルダ内を移動します。
3. [○:NAVI] ボタンを押すと、音楽ファイルを再生します。

| 音楽再生中の操作 |

- [+/−]ボタンで、音量を調節します。
- 再生中に [▶■] ボタンを押すと、再生を一時停止／再開します。
- 曲の再生中に、[⏮/⏭]を押し続けると、早送りまたは巻き戻し再生を行います。
- [⏮/⏭]ボタンを押すと、前または次の曲を再生します。

| サブメニュー |

A-B区間リピート

1. 再生中に [A-B] ボタンを押して、開始点(A)を指定します。 もう一度押すと終点(B)を指定します
2. 画面に [A-B] が表示され、指定したA-Bが繰り返し再生されます。

EQを選択する

1. 再生中に[A-B] ボタンを長押しして「EQ 選択」画面を表示します。
2. 変更したいEQを選びます。
3. [○:NAVI]ボタンで決定します。

再生モードを選択する

1. [●] ボタンを押して「再生モード選択」画面を表示します。
2. 変更したい再生モードを選びます。
3. [○:NAVI]ボタンで決定します。

音楽を聴く

サブメニュー

iQuickListを利用する
お気に入りの曲をまとめて聴くことができます。

1. 再生を停止し、 ボタンで「BROWSER」モードから楽曲リストを表示します。
2. iQuickList に追加したい曲を選び [A-B] ボタンを長押しします。(「VOICE」「RECORD」フォルダにあるファイルはiQuickList に追加できません。ファイルを別のフォルダに移動してから操作を行ってください)
3. [⏮/⏭]ボタンを押して「はい」を選択し、
4. 確認のメッセージが出たら「Yes」を選んで [○:NAVI] ボタンで決定します。

ファイルまたはフォルダを削除する

1. 再生を停止し、[⏮/⏭/+/−]ボタンを押して楽曲リストを表示します。
2. 削除したいファイル／フォルダを選びます。
3. [A-B]ボタンを押して、確認メッセージが表示されたら[⏮/⏭]ボタンを押して「Yes」を選択し、[○:NAVI]ボタンで決定します。(フォルダの削除は、フォルダ内にファイルがある場合は削除できません)

プレイリストの曲を再生する

1. 楽曲リストを表示します。「Playlist」を選択し、iriver plus 3で作成したプレイリストを選びます。
2. [○:NAVI]ボタンで決定します。選択したプレイリストが再生されます。

注意

- 最大再生時間: 約52時間 (128 Kbps、44.1 KHzのMP3ファイルで音量レベル20、EQ が「Normal」、LCD がオフの場合)
- iriver plus 3を使用して、オリジナルのプレイリストを管理することができます。

ブラウザ

ブラウザ

1. メインメニューで「Browser」を選択すると、プレーヤー内のすべてのファイルをファイルツリーで表示します。
2. [⏮/⏭/+/−]ボタンを押してファイルを閲覧します。

画像ファイルを表示する

1. ファイルリストで画像ファイルを選択し、[○:NAVI]ボタンを押すとそのファイルを表示します。

注意

- サポートしているファイル形式: BMP: モノトーン、4／8／16／24ビットカラー
(RLE形式のBMPファイルには対応していません)

FM放送を聴く

FM放送を聴く

1. メイン メニューで 「FM Radio」 を選択して、
   FM放送を受信します。

FM放送を受信する

- [○:NAVI]ボタンを押すとプリセットモードを解除し、[⏮/⏭]ボタンを短く押して放すと、周波数を0.1MHzずつ変更します。
- [○:NAVI]ボタンを押してプリセットモードを解除し、[⏮/⏭]ボタンを長押しすると、受信可能な放送が見つかるまで、自動的に周波数を変更しつづけます。
- [○:NAVI]ボタンを押してプリセットモードを選択し、[⏮/⏭]押すと、プリセットした放送局を切り替えます。

サブメニュー

ステレオ／モノラルを切り替える

1. FM放送の受信中に[▶■]ボタンを押すと、
   受信モードをステレオまたはモノラルに切り替えます。

手動でプリセットを登録する

1. [○:NAVI]ボタンを押してプリセットモードを解除します。
2. [A-B]ボタンを押して、チャンネルの保存画面が表示されます。
3. [⏮/⏭/+/−]ボタンを押して空きチャンネルを選択し、[A-B]ボタンを押して登録します。
   (■ : 登録済みのチャンネル、□ : 空きチャンネル)

自動でプリセットを登録する（オートプリセット）

1. [○:NAVI]ボタンを押してプリセットモードを解除し、[A-B]ボタンを長押しすると、オートプリセットが開始します。受信可能なFM放送局をチャンネルに登録します。

FM放送を聴く

| サブメニュー |

プリセットを削除する

1. [A-B]ボタンを押してチャンネルの削除画面を表示します。
2. [⏮/⏭/+/−]ボタンを押してチャンネル番号を選択し、[A-B]ボタンを押して削除します。
   (■ :記憶済みのチャンネル, □ : 空きチャンネル)

FM放送を録音する

1. FM放送受信中に、[●]ボタンを押すと録音を開始します。
   録音中に[▶/■]ボタンを押すと一時停止します。
   ボタンをもう一度押すと録音を再開します。
2. [●]ボタンをもう一度押すと録音を停止します。

注意

- 録音中は、音量を変更することはできません。
- メモリの空き容量または電池残量が少なくなった場合は、録音を自動的に停止します。
- 録音したファイルは、以下の形式でRecordings／FM Radioフォルダに保存されます。
  TMMDDXXX.MP3 (MM: 月、DD: 日、XXX: 保存番号)
- 録音音質は、「設定」→「録音」→「FM録音設定」で設定できます。 1分あたりのファイルサイズは、録音する音質によって異なります。
  低 (32Kbps) : 約500KB
  中 (64Kbps) : 約1MB
  高 (128Kbps) : 約2MB

録音

音声を録音する

1. メインメニューで 「Recording」 を選択します。
2. 「Ready to Record」と表示されたら、[●]
   ボタンを押して、録音を開始します。
   録音中に[▸\■]ボタンを押すと一時停止します。
   ボタンをもう一度押すと録音を再開します。
3. [●]ボタンをもう一度押すと録音を停止します。

注意

- 録音中は、音量を変更することはできません。
- メモリの空き容量またはバッテリ残量が少なくなった場合は、録音を自動的に停止します。
- 録音したファイルは、以下の形式でRecordings／Voiceフォルダに保存されます。
  VMMDDXXX.MP3（MM: 月、DD: 日、XXX: 保存番号）
- 録音音質は、「設定」→「録音」→「音声録音設定」で設定できます。 1分あたりのファイルサイズは、
  録音する音質によって異なります。
  低（32Kbps）: 約250KB　中（64Kbps）: 約500KB　高（128Kbps）: 約1MB

その他のコンテンツの再生

| ポッドキャストファイルの再生 |

ポッドキャストとは?

ポッドキャストは、放送されるスケジュールを待つことなくユーザーが好みの番組をダウンロードすることができる新しいカスタマイズ可能なパーソナルメディアです。
ポッドキャストによってポータブルメディアプレーヤーのユーザーは、ニュース、ドラマやその他のメディアコンテンツなど、さまざまな種類の音声およびビデオファイルを入手することができます。詳しくは、http:／／www.podcastready.comを参照してください。

ポッドキャストファイルをT50に転送する

ポッドキャストファイルをT50に転送するには、ポッドキャストManagerを使用します。
このアプリケーションは、iriver plus 3のポッドキャストアイコンから使用します。

ポッドキャストファイルの再生

1. メイン メニューで 「ブラウザ」 を選択します。
2. [⏮/ ⏭/ +/ −]ボタンを押して、Music-podcastフォルダ内にダウンロードしたファイルを選択し、[○:NAVI]ボタンを押して再生します。

ポッドキャストの復元

T50をフォーマットすると、ポッドキャストのシステムファイルはすべて削除されます。
これらのファイルを復元するには、「Recoveringポッドキャスト」メニューを使用します。

1. T50をUSBケーブルを使用してパソコンのUSB端子に接続したら、iriver plus 3を実行します。
2. 「ツール」→「ポータブルデバイス」→「Recoveringポッドキャスト」を選択して、復元処理を開始します。
3. 復元処理が正常に完了したら、T50をパソコンから切断し、再度接続します。 T50にポッドキャストアイコンが表示されます。

目次

第4章
T50の設定

T50の設定

T50 を利用スタイルやお好みに合わせて、各種の設定を変更できます。
メニューの構成は、ファームウェアのバージョンによって異なる場合があります。

メニュー機能の設定

1. メインメニューで 「Settings」 を選択します。
2. [＋/－]ボタンを押してメニューを選択し、
   [○:NAVI]ボタンを押してサブメニューを表示します。
3. [＋/－]ボタンを押して設定したい項目を選択し、
   [○:NAVI]ボタンを押します。
   [⏮/⏭/＋/－]ボタンを押して機能を設定します。
4. [▶■]ボタンを押して、サブメニューを終了します。

T50の設定

サウンド設定

- SRS設定: 3Dサウンド効果のレベルを設定します。
  - SRS: SRS 3Dサウンド効果をカスタマイズします。
  - FOCUS: サウンドの明瞭さを設定します。
  - TRUBASS: バスサウンドレベルをカスタマイズします。
  - WOW: イヤフォンのモデルに合わせて適切なブーストレベルを設定します。
  - DEFINITION: 小さくなったサウンドを元のレベルまで復元します。
- カスタム EQ: 各周波数範囲のレベルを変更して、独自のイコライザ設定を作成します。

画面設定

- バックライト時間: 何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動的にバックライトを消灯します。
- スクリーンセーバー: 再生モード時に指定した時間が経過すると、スクリーンセーバーが自動的に表示されます。
- スクロール速度: ファイル名が長く、画面に一度に表示できない場合に文字がスクロールされる速度を設定します。
- タグ情報表示: 表示タイプを歌詞またはタグ情報に設定します。
- 言語設定: メニュー表示などに使用する言語を設定します。
- 電池選択: 使用する電池の種類（乾電池または充電池）を選択する。
- 名前設定: プレーヤーの電源を入れたときの画面に、設定した文字が表示される。
  (韓国語および英語のみサポートしています。
  [⏮/⏭] : 文字を選択します。
  [○:NAVI] : 押す : 文字を入力します。
  長押し : 名前の入力を終了します。
  [+/−] : カーソルを移動します。
  [●] : 文字を削除します。
  [A-B] : 数字／記号を選択します。
- 画面コントラスト: 画面のコントラスト（明暗の差）を調節する。

T50の設定

録音設定

- FM録音設定: FM 録音の音質を設定する。
- 音声録音設定: 音声録音の音質を設定します。
- 音声自動認識: 無音のときは録音が自動的に一時停止、音を感知すると録音を再開する。

タイマー設定

- 電源オフタイマー: 何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにします。
- スリープタイマー: 設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにします。
- 日付と時刻: 現在の時刻と日付を設定します。
- アラーム／FM録音: 指定したアラーム時刻に動作させる機能を選択します。
- アラーム: アラームを動作させる時刻を選択します。
- FMタイマー録音: 録音する時刻と放送局を設定します。

拡張設定

- レジューム: ファイルの再生を停止した位置を記憶しておき、次回再生時に続きを再生します。
- システム情報: T50のシステム情報を表示します。
- 早送り／巻き戻し速度: 早送りおよび巻き戻しの速度を設定します。
- 再生速度: 再生する速度を設定します。
- 学習機能: 再生中に[⏮/ ⏭]ボタンを押すと、現在のトラックを設定した時間分だけ前に進みます。（この機能をオンにすると、アイコンが表示されます）
- FM地域設定: 地域の規格に基づいて、周波数範囲を設定します。
  - 韓国およびアメリカ合衆国: 87.5～108.0MHz
  - 日本: 76.0～108.0MHz
  - ヨーロッパ: 87.50～108.00MHz
- 初期設定に戻す: T50を工場出荷時の設定にリセットします。
- フォーマット: T50 を初期化します。保存されたファイルのすべてが削除されます。

目次

第5章 その他の情報

iriver plus 3を使用する

ライブラリへのメディアの追加

1. 初めてiriver plus 3を起動したときには、
   メディアの追加ウィザードが開始します。
2. パソコンの画面上の指示に従って、
   音楽や画像などのメディアファイルをライブラリに追加します。

CDから曲を録音する

1. オーディオCDをCDドライブにセットして、
   iriver plus 3を起動します。
2. iriver plus 3で、「音楽」→「CD」
   からチェックボックスを選択して、左下にある「CDリッピング」をクリックします。
3. 曲を録音したら、「すべての音楽」
   を選択して録音した曲がライブラリに追加されているかチェックします。

iriver plus 3を使用する

T50にファイルを転送する

iriver plus 3を使用する

1. T50を付属のUSBケーブルを使用してパソコンのUSB端子に接続したら、iriver plus 3を起動します。
2. 転送するファイルの横にあるチェックボックスを選択して、[ ]をクリックします。
3. 選択したファイルの転送が開始され、進行状況が左下の「ステータス」ウィンドウに表示されます。
4. 選択した曲がライブラリに追加されます。

Windows Explorer を使用する

1. USBケーブルを使用して、パソコンのUSB端子にT50を接続します。
2. 付属のUSB ケーブルでT50 をパソコンに接続して、マイコンピュータにT50として表示されるドライブにドラッグ&ドロップします。

T50

iriver plus 3を使用する

ディスクの初期化

1. T50をUSBケーブルを使用してパソコンのUSB端子に接続したら、iriver plus 3を起動します。
2. 「ツール」→「プレーヤー」→「プレーヤーの初期化」を選択し、初期化を確認するメッセージが表示されたら「開始」をクリックします。
3. 初期化処理が完了し、T50がパソコンから切断されます。

注意

- フォーマットされたファイルは修復できなくなるため、初期化を行う前に必要なファイルはバックアップしておく必要があります。

ファームウェアのアップグレード

1. T50をUSBケーブルを使用してパソコンのUSB端子に接続したら、iriver plus 3を起動します。
2. 「ツール」→「プレーヤー」→「ファームウェアアップグレード」を選択して、画面上の指示に従ってアップグレードを完了します。

注意

- ファームウェアのアップグレードファイルをダウンロードしている間は、T50をパソコンから取り外さないでください。ダウンロードが完了したら、パソコンから取り外してファームウェアのアップグレードを有効にしてください。
- インストールされているファームウェアが最新バージョンのものである場合には、最新バージョンであることを確認するメッセージが表示されます。
- T50をパソコンに接続したとき、最新のファームウェアがある場合には、自動的に指示のメッセージが表示されます。

T50

著作権／認証／商標／免責

著作権

iriverLimitedは、このマニュアルに関連するすべての特許権、商標権、著作権および知的所有権を保有しています。 iriverLimitedによる承認なしに、このマニュアルのいかなる部分もコピーまたは複製してはなりません。 このマニュアルのいかなる部分も、不正に使用した場合には罰せられることがあります。
知的所有権を有するソフトウェア、音声およびビデオは、著作権法および国際法で保護されています。 このT50で作成したコンテンツの複製または配布は、ユーザーの責任において行ってください。
例として使用した会社、組織、T50、人物および出来事は、実在するものではありません。 当社は、このマニュアルに記載されたいかなる会社、組織、T50、人物および出来事とも関係するものではなく、関係を持つと推測されるものでもありません。
ユーザーは、著作権および知的所有権を遵守する責任を負います。

認証

MIC, FCC, CE

商標

Windows 98 SE／ME、Windows 2000、Windows XP、Windows Media Playerは、Microsoft Corp.の登録商標です。
SRS WOW HD DIGITAL は、SRS Labs, Inc.の商標です。
WOWテクノロジーは、SRS Labs, Inc.のライセンスに基づいて組み込まれています。

免責

メーカー、輸入業者および販売業者は、いずれも、人体への傷害またはユーザーの誤使用や不適切な操作によって発生した損害を含む任意の損害について、責任を負うものではありません。
このマニュアルに記載された情報は、現在のプレーヤーの使用に基づいて作成されたものです。 製造元であるiriver Limitedは、T50に新たな機能を随時追加しており、今後新しい技術を導入する場合があります。 すべての基準は、予告なく任意の時期に変更されることがあります。

ユーザー登録／カスタマーサポート

製品のサポート、各種アップデートサービスなどをご提供するため、ユーザー登録を行っていただくようお願いします。
ユーザー登録は、iriver のWeb サイト(http://www.iriver.co.jp)で行うことができます。

カスタマーサポート

製品保証書の記入事項
本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より[購入日]と[販売店印]欄などの記入をお受けください。
製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

アイリバージャパン サポートセンター 電話0570-002-220
受付:月曜～金曜／10:00～18:00
E-mailでのお問い合わせはホームページのメールフォームをご利用ください。

安全に使用するために

| T50の安全について |

- デバイス内にCD以外のものを入れないでください。
- プレーヤーの上に重いものを置かないでください。
- 雨(水)、飲み物、化学物質、化粧品などがプレーヤーにかからないようにしてください。
- 湿度、ほこり、煙が多い場所など、厳しい環境を避けてください。
- 直射日光および極端な高温または低温は避けてください。
- 磁石、TV、モニター、スピーカなどの磁気を帯びたものの近くにT50を置かないでください。
- 許可なくプレーヤーを分解、修理または改造しないでください。
- 化学物質や溶剤を使って清掃しないでください。
- 落下させたり衝撃を与えないでください。
- 2つのボタンを同時に押さないでください。
- データの転送中にUSBケーブルを抜かないでください。

安全に使用するために

その他

- 自転車や自動車の運転中、または動力式の乗り物の操作中は、ヘッドフォン／イヤホンを使用しないでください。
- 危険であり、地域によっては法に触れる場合があります。
- 耳鳴りなどがする場合には、音量を小さくするかプレーヤーの使用を中止してください。
- 歩行中、特に横断歩道の通行中は音量を小さくしてください。
- 大音量で長時間、ヘッドフォン／イヤホンで音楽を聴かないでください。
- ヘッドフォン／イヤホンを大音量で使用しないでください。
- ヘッドフォン／イヤホンのコードは、近くのものに絡んだりしないように処理してください。
- ヘッドフォン／イヤホンをしたまま眠らないでください。ヘッドフォン／イヤホンを過度に長時間使用しないでください。
- 製品は、パソコン 背面の USB ポートに接続するようにしてください。
- 個人が組み立てたパソコンによっては、USBポートが正常でないために故障の原因となる場合があります。

T50

トラブルシューティング

チェック事項

- プレーヤーの電源がオンにならない。
  - バッテリが空になっていないかチェックします。
  - バッテリが正しく取り付けられているか確認します。
  - プレーヤーのホールドスイッチがオンになっていないか確認します。
- LCDディスプレイが頻繁にオフになる。
  - 節電のために、画面は指定された時間が経過するとオフになるように設定されています。
    時間を「設定」→「表示設定」→「バックライト時間」で設定します。
- 画面の文字が文字化けしている。
  - 適切な言語が選択されているか確認します。
    「設定」→「表示設定」→「言語設定」で適切な言語を設定します。
- ラジオの受信状態が悪く、ノイズが大きい。
  - イヤホンが接続されているかチェックします。
    (イヤホンはアンテナとして機能します)
  - プレーヤーとイヤホンの位置を調整します。
  - 付近にある電子機器をオフにして、干渉を防止します。
- 音声が再生されない。
  - 音量が「0」に設定されていないかチェックします。
  - イヤホンのプラグまたは接続端子が汚れていないかチェックします。
  - 音楽ファイルが破損していないかチェックします。
- 保存したファイルがT50で再生されない。
  - T50は、音楽ファイル900個、フォルダ400個をサポートしています。
- ファイルのダウンロードが利用できない。
  - バッテリが空になっていないかチェックします。
  - USBケーブルがしっかりと接続されているかチェックします。
- フォーマット後のメモリ容量が減っている。
  - メモリ容量は、オペレーティングシステムによって異なる場合があります。